

多様な性自認・性的指向に関する対応指針を策定しました！

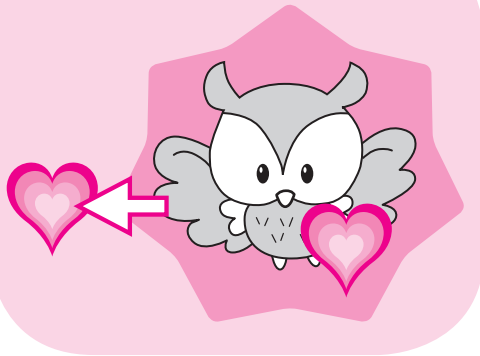
豊島区では、職員や教職員が多様な性自認・性的指向に関する正しい知識を持ち、適切な対応ができることを目指し、2018年2月、「多様な性自認・性的指向の人々に関する対応指針」を策定しました。対応指針には、多様な性自認・性的指向に関する基礎知識、例えば、語句の説明や、国・地方公共団体・豊島区の取組み、そして当事者が日々の生活で困っていること等を掲載しました。職員はもちろん、区民の方々も読んで役立つ内容になっています。区のHPに掲載していますので読んでみませんか。「多様な性自認・性的指向に関する対応指針」URL：<http://www.city.toshima.lg.jp/049/kuse/danjo/004787.html>
対応指針の中の一部をご紹介します！

基礎知識 I

性のあり方を構成する4要素

性のあり方を構成する要素も人それぞれ。性のあり方は人の数だけ存在します。

セクシュアリティ (性のあり方)



性自認 自分の性別をどのように認識しているかを示すもので「心の性」とも言われます。「女性であり、男性でもある」、「女性と男性の間である」、「どちらでもない」、「自分の性別が分からない・定まっていない」、「自分の性別を決めたくない」、「そもそも性別がない」等、様々です。



身体的な性別 身体的特徴（内・外性器等）を基にした性別のことです。性分化疾患等の影響で身体的特徴からは、「女性／男性」の判別がつかないこともあります。



性的指向 ある人の恋愛感情や性的関心がどのような対象に向くかを示すものです。恋愛感情や性的指向が異性に向いている「異性愛」、同性に向いている「同性愛」、女性と男性の両方に向く「両性愛」があります。

このほか、どのような対象にも恋愛感情や性的関心を抱かない「無性愛（アセクシュアル）」や、相手の性別を問わない「全性愛（パンセクシュアル）」等もあります。



性表現 言葉遣いや立ち振る舞い、服装などを通して、外部に向けて自分の性をどのように表現しているかを指します。

基礎知識 II

様々な性自認・性的指向

[LGBT] は、Lesbian (レズビアン)、Gay (ゲイ)、Bisexual (バイセクシュアル)、Transgender (トランスジェンダー) の頭文字を取った言葉です。性のあり方は多様で、LGBT以外にも、様々な性がありますが、現時点では、多様な性自認・性的指向の人々を包括的に表す言葉として用いられています。

①レズビアン (Lesbian)

性自認が女性で、女性に対して恋愛感情を抱く人のことを指します。「女性同性愛者」とも言われます。

③バイセクシュアル (Bisexual)

女性と男性の両方に恋愛感情を抱く人のことを指します。「両性愛者」とも言われます。

LGBT

②ゲイ (Gay)

性自認が男性で、男性に対して恋愛感情を抱く人のことを指します。「男性同性愛者」とも言われます。

④トランスジェンダー (Transgender)

生物学的な性（体の性別）と性自認（心の性別）が一致せず、違和感を持っている人のことです。

LGBTと一まとめにしてありますが、①～③は性的指向について、④は性自認について示しており、異なるものが合わさって表現されていることに注意しましょう。

SOGI (Sexual Orientation and Gender Identity) とは？

性自認と性的指向は、まとめて「SOGI (ソジ・ソギ)」という語句で表現することもあります。「SOGI」は「性的指向 (Sexual Orientation = SO)」と「性自認 (Gender Identity = GI)」を略した言葉で、「LGBT」とは違って、異性に恋愛感情を抱く人や、体の性別と心の性別が一致している人も含まれます。